



2017.10.22 衆議院選挙への投票を呼びかけます

明日の自由を守る若手弁護士の会・兵庫支部

- 1 私たちは、主権者国民の思いと離れて進んで行く今の政治に危機感を感じています。
- 今回の総選挙は、憲法に基づいて開催が求められた臨時国会の冒頭で、新内閣の所信表明演説もないまま、なんらの議論をすることなく、衆議院が解散されたために行われます。

2 私たちの国民主権、民主主義は、今や崖っぷちです

どんな国家へ歩むべきか、それを選ぶのは、私たち（主権者国民）。

憲法 = 国の基本設計図

時の政権が決して暴走しないための「権力の枠組み」。

立憲主義 = 主権者国民が、国民の権利を守るために、権力担当者に対し、憲法の枠組みの中で政治をすることを求める政治体制

しかし、現政権 → 世論調査で、国民の半数以上が反対意見を表明し、国会での慎重審議を求めている中、その声を押し切って、多数決（数の力）で、いわゆる強行採決によって、憲法の枠組みを逸脱するおそれが指摘される法律を次々に成立させています。

3 今回の選挙では、憲法改正が掛かっています（重大争点）

現在の憲法の基本理念 = 個人の尊重

そのための仕組み → ① 平和主義（戦争の放棄） ② 三権分立 など

現在、各党から、平和主義について、戦争できる仕組みを作れるように憲法を改正しようとか、国家の緊急事態であれば三権分立を止めて内閣に権力を集中できるように憲法を改正しようという提案がなされています。

社会のあり方や子供の未来に大きく影響を与える重大な争点です。

4 私たちの明日のために、ぜひ、投票にお出かけ下さい。

明日の自由を守るためには、一部の人達に政治を丸投げして従う、なんてわけにはいきません。民主主義を諦めるわけにはいきません。今、一人一人の立場でできることをしていきましょう。

今日、生まれた子にどんな未来を残したいですか？

例えば・・・戦争のない日本。個性が尊重される未来。

各党選挙公約の比較

公約		共産党 社民党	立憲民主党	日本維新	希望の党	公明党	自民党
憲法	憲法9条	自衛隊明記 に反対	専守防衛を逸 脱する自衛隊 明記には反対	自衛隊明記 に賛成	9条を含め、 改憲論議を すすめる。	自衛隊明記に 理解。改憲論 議進める。	自衛隊明記 を推進
	新安保法制	廃止	廃止	継続	適切に運用	賛成・推進	賛成・推進
	特定秘密保護法	廃止	廃止	継続	継続	継続	継続
	テロ等準備罪(共謀罪)	廃止	廃止	継続	継続	継続	継続
核	原発	再稼働反対 原発ゼロ	再稼働反対 原発ゼロ	再稼働容認 フェードアウト	再稼働容認 2030年までに廃止	再稼働容認 依存度を減らす	推進
	核兵器禁止条約参加	すぐに	参加に努力	言及なし	不明(※1)	条約採択は 一步前進(評価)	しない
森友,加計疑惑		徹底追及	徹底追及	言及なし	情報公開が 足りない	情報公開を 整備	説明なし
対北朝鮮への対応		対話	対話のために 経済制裁重視	圧力(※2)	不明(※3)	圧力	圧力(※4)
経済対策	残業代ゼロ法案、残業時 間規制上限100時間法案 (※5)	反対	反対	賛成(※6)	不明	言及せず	推進
	2019.10消費税増税	反対	凍結	凍結	凍結	賛成(※7)	賛成

(※1)「核武装の選択肢は十分ありうる」との小池氏発言あり(2003月刊誌「Voice」対談記事)

(※2) 共同通信社の実施した候補者アンケートで日本維新の会の回答者の77.5%が武力行使に賛成

(※3)「北朝鮮に対話より圧力を」との項目に賛成との小池氏の2014年衆院選での「朝日・東大共同調査」への回答あり

(※4) 共同通信社の実施した候補者アンケートで自民党の回答者の39.5%が武力行使を支持

(※5) 過労死の判断基準＝1ヶ月100時間・6ヶ月平均80時間ライン(厚生労働省)

(※6)「労働時間ではなく仕事の成果で評価する働き方を可能とする労働基準法の改正」

(※7)「軽減税率を導入する」



10.10 公示
10.22 投票

未来を選ぶ衆議院選挙
あすわか・兵庫